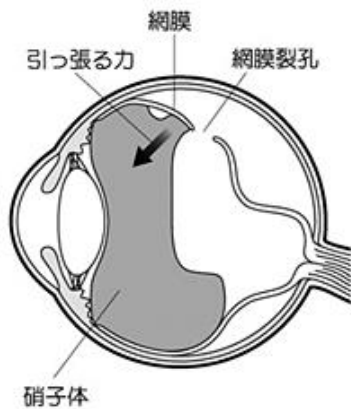


眼科とアトピー性皮膚炎のタダならぬ関係⑩

新型コロナウイルス感染症について、今年の夏の患者数の増減は一つのポイントになるのでは？つまり個人的にはこの夏に大きく新規患者数が増えないようならば「いよいよ脱コロナも近いのかな？」と期待していたのですが…残念ながら直近の状況を考えてこの夏での「脱出」とは行かない様ですね。一時期、欧米での感染者数が減少しマスクの着用義務が緩和されました。しかしその後、感染者数が再度増加傾向となりマスク着用を推奨したり(再度義務可は検討中という雰囲気の様子)。また最近の国内は感染者数が急激に増加しています。勿論「屋外で会話が無いか他の方から2m程度の距離が取れるならマスクは不要」というのは事実として変わらないと思うのですが、それを強く実行すると「屋内に入室する際にマスクを忘れる」「屋外でマスク無しで歩きながら携帯電話で喋っていて、話に気を取られていて気が付いたら目の前を他の方が通り過ぎていた(※喋る行為ありの2m以内となりますよね?)」なんて事が起こりうる。「ちょっとだけだから大丈夫でしょう？間違えちゃう事くらい誰にだってある、悪気はないんだし。」と、まあそれも気持ちはわかるんですが、ちょっと間違えちゃっただけでもコロナに感染する時はしちゃうかもしれないんですよね(必ずではないですけど)。去年から今年の冬の感染状況は最悪で、身近な方でのコロナ感染を初めて経験した方も多かったのではと思いますが、現状の感染増のペースだとこの夏は今年の冬を越える人数のコロナ感染者が出ると考えられます。重症化の割合は少ない可能性もありますが、医療が逼迫する可能性はあり得る訳です。皆さん体調管理はくれぐれも注意をして頂いて、マスクを外せば熱中症にならない訳ではないですし、マスクをしてきたから必ず熱中症になる訳でもありません。熱中症にならないように炎天下での過度な活動を控える、お部屋の温度は調節する、水分はコップに摂取するなどなど…基本的な対策も大切な？と思います、ご自愛下さい。では前回号からの引き続き引用文の掲載です。@@@@@@@@@@@@

硝子体の引っ張りをなくすためには、眼球の外側にシリコン素材のベルトを縫い付けて、網膜裂孔の部分を眼球の内側に土手状に突き出させる方法と、直接硝子体を切除してしまう方法があります。網膜裂孔の大きさや位置、網膜剥離の古さなどで、どちらかの方法が選択されます。網膜裂孔は冷凍凝固やレーザー凝固によってふさがります。



ずっと放置されていた非常に古いタイプの網膜剥離や、大きな裂孔を生じているタイプの網膜剥離などは、網膜の周辺に増殖膜ができて複雑な網膜剥離になっている場合が多く、硝子体手術に加えて硝子体にガスを注入して、ガスの力で網膜を伸ばす手術も必要となります。

網膜の周辺だけが剥離しているような場合は、白内障の手術をして初めてみつかることもありますので、アトピー白内障の手術を受ける際には、網膜剥離を合併している可能性も考えて眼科医に相談しましょう。

8.眼合併症の対策

眼合併症は、思春期から成人にかけて顔のアトピー性皮膚炎が重症となるタイプの方に多いので、このような患者さんは眼科で定期的な検査を受けたほうがよいでしょう。角膜障害や網膜剥離の誘因には、目のまわりをくり返して何度もこすったり叩いたりするなどの機械的刺激が関係しています。そのため、かゆみの原因であるアトピー性皮膚炎の対策が治療の基本となります。@@@@@@@@今月の引用はここ迄です、続きは次号をお楽しみに。

2022年夏季休診日程

	8/13	8/14~8/21	8/22
AM	○	×	○
PM	×	×	○
	※ ×	休診
	○	通常診療

今月のお知らせ

本年度の夏季休診は上記日程です。ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解の程お願い致します。



<http://www.fujita-ganka.com>

FUJITA-EYE-CLINIC
藤田眼科
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)
F-Vision

☎042 (645) 0575
☎042 (642) 2911